

# 委託事業実施内容報告書

## 平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 佐賀県日本語学習支援“カスタネット”

### 1. 事業名称

佐賀県在住の外国籍住民への日本語教育支援事業「サガン日本語モデル・プロジェクト」2014

### 2. 事業の目的

佐賀県は外国籍住民の散在地域で、これまで地域日本語教室が非常に少なかった。当団体が文化庁委託事業で一昨年度から始めた事業により、平成25年末現在8市に12の教室が活動を始めている。今年度はボランティア教室がある地域で「初級日本語集中講座」を開講し、受講者を地域在住日本語支援ボランティアに託す構図をしっかりとものにしたい。各地域に立ち上げた日本語教室の活動の充実を図るために、ボランティア養成講座を開講する。また、日本語教室で使える教材の開発を行なうことで、外国籍住民が自立した生活ができるように支援する。

### 3. 事業内容の概要

- ・地域の日本語教室がこの2年の間に5つ立ち上がり、外国籍住民が学習する場が広がったのは、非常にありがたいことである。この先、立ち上がったばかりの日本語教室がしっかり活動していくためには、いろいろな支援が必要である。1つは地域のボランティアのスキルアップである。地域の日本語教室間の連携を図ることも必要である。そのために、「ボランティア養成講座」を各地域から広く人材を集めて開講し、スキルアップや連携を図る。(②人材養成)
- ・地域日本語教室の限界(週1回のみ)の日本語学習)に対しては、引き続き各地域で「初級日本語集中講座」を開講する。(①教室の開設)
- ・地域日本語教室で使用する日本語学習教材を作成し、各教室で使用してもらう。(③教材作成)

### 4. 運営委員会の開催について

#### 【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年6月17日(火) 14:00~15:00	1時間	神崎市役所	宮原美穂、池上順子、有瀬尚子	「カスタネット」団体の活動概要説明、「初級日本語集中講座」開催に向けての協議	神崎市の外国籍住民の実情、「初級日本語集中講座」の開催意義、開催の場所、日程、託児、周知方法
2	平成26年7月8日(火)15:00~16:00	1時間	佐賀市役所国際交流室	伊東あゆみ、馬場三佳、貞松明子	「日本語支援ボランティア養成講座」の後援依頼	「日本語支援ボランティア養成講座」の概要説明、助言、広報について
3	平成26年7月11日(金)13:00~14:00	1時間	佐賀県国際交流プラザ	中野靖子、矢富明德、貞松明子	「日本語支援ボランティア養成講座」の後援依頼	「日本語支援ボランティア養成講座」の概要説明、助言、広報について
4	平成26年10月2日(木)15:00~16:00	1時間	吉野ヶ里町役場	田中大輔、有瀬尚子	「初級日本語集中講座」開催の報告	講座の成果及び反省、改善点
5	平成26年10月31日(金)15:00~16:00	1時間	鹿島市役所	木原知典、貞松明子、有瀬尚子	「初級日本語集中講座」開催に向けての協議	鹿島市の外国籍住民の実情、「初級日本語集中講座」の開催意義、開催の場所、日程、託児、周知方法
6	平成26年12月25日(木)10:30~11:30	1時間	小城市役所	木室賢太郎、有瀬尚子	「初級日本語集中講座」開催に向けての協議	小城市の外国籍住民の実情、「初級日本語集中講座」の開催意義、開催の場所、日程、託児、周知方法
7	平成27年2月4日(木)13:00~14:00	1時間	鹿島市役所	木原知典、有瀬尚子	「初級日本語集中講座」開催の報告	講座の成果及び反省、改善点
8	平成27年3月10日(火)11:00~12:00	1時間	佐賀市役所国際交流室	伊東あゆみ、貞松明子	「日本語支援ボランティア養成講座」事業終了の報告	「日本語支援ボランティア養成講座」の成果、反省点、改善点について
9	平成27年3月13日(金)15:00~16:00	1時間	小城市役所	木室賢太郎、有瀬尚子	「初級日本語集中講座」開催の報告	講座の成果及び反省、改善点

## 5. 日本語教育の実施

- (1) 講座名称 日本語専門家による外国籍住民を対象とした「初級日本語集中講座」  
初級レベルの外国籍住民に対し、日本語基礎文法学習を日本語専門家が集中的に行うことにより、学習者の日本語学習をよりスムーズにスタートさせ、且つ日本語学習の意欲を継続させる。一般に、上記目的は地域日本語教室のボランティアの活動に任されている現状があるが、日本語専門家が行うことで、その負担を軽減する。また、最終日には最寄りの日本語教室との交流会を実施し、日本語教室へつなぐことで、受講者の継続的な日本語学習を促す。
- (2) 目的・目標
- (3) 対象者 来日直後の外国籍住民／長年住んでいても、日本語専門家による初期指導を受けていない、又は体系的に日本語学習をしていない外国籍住民
- (4) 開催時間数(回数) 各回 38 時間 (全 3 回)
- (5) 使用した教材・リソース 当団体“カスタネット”作成教材
- (6) 受講者の総数 13 人  
出身・国籍別内訳

中国	5人	インドネシア	人	スロベニア	1人
韓国	人	タイ	6人		
ブラジル	人	ペルー	人		
ベトナム	人	フィリピン	人		
ネパール	1人	日本	人		

### (7) 日本語教室の具体的内容

#### ①「初級日本語集中講座」in 神埼

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年9月12日(金) 9:00~16:00	6時間	神埼市中央公園体育館	3人	中国(2人)、ネパール(1人)	自己紹介、名詞文、動詞文	あいさつや簡単な自己紹介をする。数字、月日、時間、物の名前を学ぶ。名詞文を理解し、作って言うようになる。動詞文を理解し、作って言うようになる。	池上順子	無し
2	平成26年9月13日(土) 9:00~16:00	6時間	神埼市中央公園体育館	1人	中国(1人)	形容詞文	い形容詞、な形容詞の意味がわかり、活用を理解する。物や人の様子、様々な状況を形容詞を使って言うようになる。	池上順子	無し
3	平成26年9月26日(金) 9:00~14:00	4時間	吉野ヶ里中央公民館	1人	中国(1人)	普通体、普通形、名詞修飾	会話でよく使う「～んです」が適切に使える。名詞修飾を使い、物や人の様子、様々な状況が言えるようになる。	池上順子	無し
4	平成26年9月30日(火) 13:00~16:00	3時間	吉野ヶ里中央公民館	1人	中国(1人)	自動詞、他動詞	動詞の自動詞、他動詞の概念を理解する。日常よく使う表現を練習し、使えるようになる。	早瀬郁子	無し
5	平成26年10月1日(水) 9:00~14:00	4時間	吉野ヶ里中央公民館	1人	中国(1人)	て形応用、授受	て形を使った表現を練習する。授受の概念を理解し、適切に使えるようになる。	貞松明子	無し
6	平成26年10月2日(木) 9:00~14:00	4時間	吉野ヶ里中央公民館	4人	中国(2人)、	複文、まとめ、交流会	文をつなげて、長く言うようになる。授業で書いた作文を発表する。	有瀬尚子	無し

### (8) 受講者の募集方法

市役所のホームページ、市報に掲載。市役所市民課窓口、各公民館、支所、保健センターにチラシを配置する。地域の日本語教室での周知活動をする。FMラジオでの呼びかけなどを行った。

### (9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

- ・少人数クラスなので一人一人に時間をかけて教えることができた。
- ・1日目に受講者の日本語能力を見極め、学習内容を組み立てて、受講者の希望に添うことができた。



(10) 目標の達成状況・成果

- ・託児を設けたことで、安心して勉強することができた。
- ・独学で覚えていたのを体系立てて学び直すことができた。
- ・講座で、同国の人と知り合うことができた。
- ・神埼市と近隣の吉野ヶ里町に名義後援をいただいたことで、2ヶ所で開催することができ、受講者の都合に合わせられた。

(受講者の感想)・先生はいろいろ説明してくれました。心からよかったですと感謝しています。

(11) 改善点について

- ・神埼市報やチラシなどの効果があまりなかった。広報の方法は、日本人はもちろんだが、日本語を母語としない人への周知が非常に難しいと改めて感じた。
- ・日本語教室が出来て、まだ1年未満という短さだったので、神埼市の日本語教室の活動を充実させていくことがまずは重要だということを実感した。
- ・社会教育課の生涯学習という位置づけでこの講座を開催してみてもどうかという意見もでた。

(7) 日本語教室の具体的内容

②「初級日本語集中講座」in 鹿島

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成27年1月17日(土) 9:00~16:00	6時間	鹿島市民交流プラザ「かたらい」	2人	香港(2人)	名詞文、形容詞文、動詞文	名詞文、形容詞文、動詞文の意味を確認し、活用などの文法項目の復習をする。	有瀬尚子	無し
2	平成27年1月19日(月) 9:00~16:00	6時間	鹿島市民交流プラザ「かたらい」	2人	香港(2人)	普通体、普通形、名詞修飾	会話でよく使う「～んです」が適切に使える。名詞修飾を使い、物や人の様子、様々な状況が言えるようになる。	貞松明子	無し
3	平成27年1月22日(木) 9:00~16:00	6時間	鹿島市民交流プラザ「かたらい」	2人	香港(2人)	自動詞、他動詞、て形応用	動詞の自動詞、他動詞の概念を理解する。日常よく使う表現を練習し、使えるようになる。て形を使った表現を学ぶ。	貞松明子	無し
4	平成27年1月23日(金) 9:00~16:00	6時間	鹿島市民交流プラザ「かたらい」	2人	香港(2人)	授受	授受の概念を理解し、適切に使えるようになる。	池上順子	無し
5	平成27年1月24日(土) 9:00~16:00	6時間	鹿島市民交流プラザ「かたらい」	2人	香港(2人)	複文、尊敬語	文をつなげて、長く言えるようになる。待遇表現の中の尊敬表現を知る。	有瀬尚子	無し
6	平成27年1月25日(日) 9:00~18:00	8時間	鹿島市民交流プラザ「かたらい」	5人	香港(2人)、交流会	謙譲語、まとめ、交流会	待遇表現の中の謙譲語を知る。授業で書いた作文を発表する。	早瀬郁子	無し

(8) 受講者の募集方法

市役所のホームページ、市報に掲載。市役所市民課窓口、各公民館、支所、保健センターにチラシを配置する。地域の日本語教室での周知

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

・「初級日本語集中講座」の去年の受講者だったため、文法項目を難しいものにした。地域の日本語教室や独学で学ぶのは難しいと思われる日本語の概念や文法を取り入れての講座になった。



(10) 目標の達成状況・成果

- ・昨年は来日してまもない頃でゼロ初級者であったが、昨年の「初級日本語集中講座」終了後も地域の日本語教室に通い、日本語学習を継続させていた。その1年後にまた当講座を受講し、さらにスキルアップすることができた。日本人との交流も積極的に日本語力も非常に伸びた。当講座と地域の日本語教室との連携がうまく取れたケースだと言える。
- ・鹿島市の交流プラザを会場にしたことで、市民の方も時々講座を見に来られるなど関心をもっていただけた。(受講者の感想)・たくさんの日本語が勉強できました。

(11) 改善点について

- ・鹿島市の日本語教室に来られている方を対象として講座を開催したが、仕事が不定休なケースや、農家の方は繁忙期ということもあり参加できない人がいた。開催時期や日程を組むことへの配慮が必要だった。

・鹿

(7) 日本語教室の具体的内容

③「初級日本語集中講座」in 小城

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成27年3月3日(火) 9:00~16:00	6時間	三日月保健福祉センター「ゆめりあ」	7人	タイ(6人)、スロベニア(1人)	あいさつ、数字、月日、自己紹介 名詞文、動詞文	挨拶ができ、自己紹介ができる。名詞文、動詞文の意味を確認し、活用など練習をする。	早瀬郁子	無し
2	平成27年3月4日(水) 9:00~16:00	6時間	三日月保健福祉センター「ゆめりあ」	7人	タイ(6人)、スロベニア(1人)	形容詞文、動詞文、動詞の分類	形容詞文、動詞文の意味を確認し、活用など練習をする。動詞の分類ができ、て形の作り方がわかる。	早瀬郁子	無し
3	平成27年3月5日(木) 9:00~16:00	6時間	三日月保健福祉センター「ゆめりあ」	1人	中国(1人)	形容詞文、動詞文、動詞の分類	形容詞文、動詞文の意味を確認し、活用など練習をする。動詞の分類ができ、て形の作り方がわかる。	有瀬尚子	無し
4	平成27年3月7日(土) 9:00~12:00	3時間	三日月保健福祉センター「ゆめりあ」	1人	中国(1人)	名詞文、形容詞文、動詞文	名詞文、形容詞文、動詞文の意味を確認し、活用などの文法項目の復習をする。	有瀬尚子	無し
5	平成27年3月8日(日) 9:00~12:00	3時間	三日月保健福祉センター「ゆめりあ」	1人	中国(1人)	普通体、普通形、名詞修飾	会話でよく使う「～んです」が適切に使える。名詞修飾を使い、物や人の様子、様々な状況が言えるようになる。	貞松明子	無し
6	平成27年3月9日(月) 9:00~16:00	6時間	三日月保健福祉センター「ゆめりあ」	13人	タイ(6人)、スロベニア(1人)、中国(1人)、日本(5人)	動詞文で形、まとめ、交流会	動詞で形がわかり、依頼や許可などの表現が言えるようになる。授業で書いた作文を発表する。	貞松明子	有瀬尚子、早瀬郁子

(8) 受講者の募集方法

市役所のホームページ、市報に掲載。市役所市民課窓口、各公民館、支所、保健センターにチラシを配置する。地域の日本語教室での周知

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

昨年度の受講者と、短期受け入れ留学生として来日した学生への集中講座となった。最終日は日本語教室のボランティアも参加し、留学生たちの発表を聞いて楽しく会話するなど交流ができた。



(10) 目標の達成状況・成果

- ・受講した留学生は日本語の学習歴が様々でまだ平仮名もよく読めない人から、初級文法を大学で学んで来た人までいたが、日本語に慣れ親しみ、日本人大学生との交流がスムーズに行くことを目標にして、講座を進めた。生活する上での挨拶から始まり、動詞、形容詞の活用など文法項目も学習した。
- ・会場は保健センターで行ったので、センターにこられている方々とも日本語を使っでの交流ができた。
- ・最終日は補助者が入ったので、一人一人丁寧に文法項目の説明ができ質問にも答えることができた。
- ・留学生以外の小城市在住の受講者は昨年度の受講者で、日本語教室からの紹介で参加した。昨年以來、現在も日本語教室で交流活動を継続している。講座を行う“カスタネット”と日本語教室の連携が取れていると言える。

(11) 改善点について

- ・小城市と地域連携協定を結んでいる大学の短期留学生だったこともあり、市の対応も大学の対応もよく、学生の交通手段など配慮していただけた。しかし、地域在住の受講者は1人とどまったことは残念だった。
- ・周知をしてもなかなか人が集まらない。日本語の上達よりも先に働き始める人が多いことも要因のひとつだろう。
- ・地域の日本語教室と小城市、また“カスタネット”との連携もよく、教室活動も活発なので、これからも途切れることなく活動を続けていくことが重要だ。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 : 支援者の裾野を広げるための実践的な「日本語支援ボランティア養成講座」
- (2) 目的・目標 : 日本語支援ボランティアに興味・関心のある方々に対して、取り組み方や基礎知識を指導する。いろいろな活動の仕方を紹介する。実習も実施して、すぐに活動ができる人材を養成する。
- (3) 対象者 : 日本語支援ボランティアに関心のある地域住民
- (4) 開催時間数(回数) 45時間 (全 15回)

- (5) 使用した教材・リソース：カリキュラム案、教材例集／  
当団体「カスタネット」独自作成教材「日本語ボランティア教室活動ブック」等
- (6) 受講者の総数 28 人  
出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	28人

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年9月20日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	19人	日本(19人)	外国人が佐賀に来たら～佐賀の現状～	地域日本語教室の位置付け・役割について／日本語ボランティアの心得／「やさしい日本語」についてのワークショップ	貞松明子	早瀬郁子
2	平成26年9月27日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室D・E	18人	日本(18人)	外国人と交流しよう～対話活動について～	様々な日本語教育／地域日本語教育とは(学校型の日本語教育との違い)／対話型活動について／対話活動のワークショップ	貞松明子	池上順子
3	平成26年10月11日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	17人	日本(17人)	外国語としての日本語①～日本語を見直そう～	日本語の基礎(名詞文・動詞文・形容詞文・動詞の活用)を確認・理解する／一般的な教科書の日本語を分析してみる	貞松明子	早瀬郁子
4	平成26年10月18日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	18人	日本(18人)	活動するための手掛り①～カリキュラム案を使って～	文化庁作成カリキュラム案について説明する／教材例集より「地域社会に参加する」を使ってワークショップ	有瀬尚子	池上順子
5	平成26年10月25日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	19人 パネラー11人	日本(30人)	県内のボランティア教室の活動状況を知ろう	「ボランティアとは」ボランティア活動自体について理解する／佐賀県内の地域日本語教室で活動中のボランティアを招いてパネルディスカッション／グループディスカッション	池上順子	貞松明子
6	平成26年11月8日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	18人	日本(18人)	外国人との交流に向けて～実習①の準備～	教材例集より「医療機関で治療を受ける」等の使い方を教える／既習の項目から選んでグループで実習準備をする	貞松明子	池上順子
7	平成26年11月15日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	20人 実習協力者8人	日本(20人) 中国(3)韓国(2) ベトナム(1)タイ(1) オーストラリア(1)	外国人との交流～実習①～	佐賀大学の留学生(8名)を招いて実習を行った(教材例集の内容を使用)／受講者は各自約1時間の実習を行い、その他の時間は他の受講者の実習を見学した	貞松明子	有瀬尚子
8	平成26年11月29日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	16人	日本(16人)	外国人との交流に向けて～実習①の振り返り～	実習①についてグループで話す⇒全体で共有する／教材例集より「災害に備え、対応する」「住民としてのマナーを守る」の使い方を教える	有瀬尚子	池上順子
9	平成26年12月6日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	13人	日本(13人)	外国語としての日本語②～外国に繋がる子供たち～	カスタネット・キッズの活動の紹介／「こども日本語サポーター」の活動について／外国人児童生徒の現状と日本語指導について／子供用の日本語教材を使ってのワークショップ	早瀬郁子	貞松明子
10	平成26年12月13日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	18人	日本(18人)	活動するための手掛り②～「活動ブック」を使って～	カスタネット作成教材「日本語ボランティア教室活動ブック」の特徴と使い方の説明／「活動ブック」1課を使ってワークショップ／(日本語文法)助詞について	有瀬尚子	貞松明子
11	平成27年1月10日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	16人	日本(16人)	活動するための手掛り③～「活動ブック」を使って～	「日本語ボランティア教室活動ブック」2課を使ってワークショップ／(日本語文法)動詞の分類と活用形について①	早瀬郁子	貞松明子
12	平成27年1月17日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	15人	日本(15人)	活動するための手掛り④～「活動ブック」を使って～	「日本語ボランティア教室活動ブック」3課・4課を使ってワークショップ／(日本語文法)動詞の分類と活用形について②	貞松明子	早瀬郁子
13	平成27年1月31日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室G	14人	日本(14人)	外国人との交流に向けて～実習②の準備～	「日本語ボランティア教室活動ブック」5課を使ってワークショップ／(日本語文法)形容詞について／既習の教材を使って実習②の準備(グループで)	早瀬郁子	貞松明子 有瀬尚子
14	平成27年2月14日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室A・G	15人 実習協力者9人	日本(15人) 中国(1)台湾(3) ベトナム(1) インドネシア(1)バングラデシュ(3)	外国人との交流～実習②～	佐賀大学の留学生(9名)を招いて実習を行った(「活動ブック」の内容を使用)／受講者は各自約1時間の実習を行い、その他の時間は他の受講者の実習を見学した	貞松明子	早瀬郁子
15	平成27年2月21日(土) 13:00~16:00	3時間	佐賀市市民活動プラザ会議室D・E	12人	日本(12人)	今後の活動に向けて～実習②の振り返りを通して～	実習②についてグループで話す⇒全体で共有する／原点に帰り再度、地域日本語教室の役割について理解する／今後の活動に向けて具体的な提案	貞松明子	早瀬郁子

## (8) 受講者の募集方法

当団体及び国際交流協会のホームページに掲載／チラシを作成し公共施設等に配置／佐賀新聞に広報を依頼等

## (9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



(写真は左から第1回・第5回・第14回)

地域で活動していただくボランティアを養成するために、地域に密着した講座を考えた。座学・受講者同士のグループワークに加え、既に日本語ボランティアとして活動している方々を迎えて話し合う機会を持った。(第5回)近くに在住している方はすぐにも教室に参加し、養成講座は意味のあるものになった。また、日本人同士の練習では得られない外国人の反応を感じてもらうために実習を実施した。(第7回・第14回)実習①では日本語力が中上級の学生に依頼したので、受講者は会話を十分に楽しめた。実習②では初級の学生に依頼し、いろいろなレベルの外国人に出会ってもらった。すぐにでも活動が始められるように、カリキュラム案・教材例集と活動ブックを使用し、「活動の手掛り」をたくさん示して、実践的な講座を目指した。

## (10) 目標の達成状況・成果

・地域の日本語教室で即戦力として活動してもらえるボランティアを養成することを目標として講座を実施したが、講座の途中から活動を始める方もいて、当初の目標は達成できた。また、既に活動しているものの基礎的な知識がないということで受講した方もいた。その方たちには自信をもって活動していける知識とスキルを身に付けてもらった。

### <受講者アンケート>

- ・興味があって申し込みましたが、思った通りの内容で大変役に立ちました。今後も交流を楽しみながら、外国人への日本語支援をしていきたい。
- ・有意義な内容の講座でしたので、全15回皆勤できました。
- ・日本語についての知識、実際の活動の仕方など、多くのことを学ぶことができました。ボランティアをする前に自信が付きました。
- ・毎回楽しみながら講座を受けることができました。ボランティアと同時進行で講座を受けていたので、「今度～の話をしよう」など十分に実践に繋がりました。
- ・対話の実習が組み込まれていたのも、とても良かったと思います。コーディネートの仕方など、自分たちで話し合ったり組み立てたりできて、楽しかったです。留学生と出会えて新鮮な気持ちで学べました。充実した内容だったと思います。

## (11) 改善点について

- ・9月から2月まで5か月かかって15回の講座を実施したが、長丁場という感じがあった。月に3回開講というのは、やや間延びした感があったのは否めない。ただ、ゆっくり進めたことでボランティア活動に入っていけた事例もあり、一長一短といったところである。
- ・実習の日程が、留学生の都合で、最初に決めていた日からずれてしまった。実習の前後の活動も重視していたので、このズレは残念であった。また、途中で講座内容を組み替える必要が生じ、受講者に迷惑をかけたと思う。
- ・今回の講座は、即戦力を養成するための実践的な講座だったため、他県の実状を知る機会などを持つことをしなかった。

## 7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 「日本語ボランティア教室活動ブック」

(2) 対象 外国籍住民

(3) 目的・目標

「初級日本語集中講座」受講生は受講後は地域のボランティア教室で日本語学習を続けることになる。その際、集中講座の学習成果を定着させるような教材が不可欠である。そこで、集中講座の内容を踏まえて、地域日本語教室で使用できる教材を作成する。

(4) 構成・総ページ数 48ページ

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年9月16日(火) 14:00~17:00	3時間	佐賀市民活動プラザ 会議室D	貞松明子 早瀬郁子 有瀬尚子 有瀬浩美	「日本語ボランティア教室活動ブック」の全体構想	全体のコンセプト決め/項目/担当決め
2	平成26年10月22日(水) 11:00~14:00	3時間	佐賀大学	貞松明子 早瀬郁子 有瀬尚子 有瀬浩美	「日本語ボランティア教室活動ブック」第1・2課について	第1課、第2課の内容検討
3	平成26年11月5日(水) 11:00~14:00	3時間	佐賀大学	貞松明子 早瀬郁子 有瀬尚子 有瀬浩美	「日本語ボランティア教室活動ブック」第3・4課について	第3課、第4課の内容検討
4	平成26年12月3日(水) 11:00~14:00	3時間	佐賀大学	貞松明子 早瀬郁子 有瀬尚子 有瀬浩美	「日本語ボランティア教室活動ブック」第5・6課について	第5課、第6課の内容検討
5	平成26年12月17日(水) 11:00~14:00	3時間	佐賀大学	貞松明子 早瀬郁子 有瀬尚子 有瀬浩美	「日本語ボランティア教室活動ブック」第7・8課について	第7課、第8課の内容検討
6	平成27年2月27日(金) 16:00~18:00	2時間	佐賀市民活動プラザ 会議室F	貞松明子 早瀬郁子 有瀬尚子 有瀬浩美	「日本語ボランティア教室活動ブック」第9・10課について	第9課、第10課の内容検討
7	平成27年3月6日(金) 15:00~19:00	4時間	佐賀市民活動プラザ 会議室C 国際交流プラザ研修 室A	貞松明子 早瀬郁子 有瀬尚子 有瀬浩美	「日本語ボランティア教室活動ブック」について	目次、まえがき、使い方等の内容検討
8	平成27年3月7日(土) 12:00~16:00	4時間	小城市健康福祉セン ター ゆめりあ	貞松明子 早瀬郁子 有瀬尚子 有瀬浩美	「日本語ボランティア教室活動ブック」について	目次、まえがき、使い方、あとがき等の内容検討

\*「教材の使い方説明会」の開催について

回数	開講日時	時間	教室名(場所)	講師
1	平成26年11月16日(日) 10:00~11:00	1時間	にほんごにちようび (唐津市大手ロセンタービル)	有瀬尚子
2	平成26年11月16日(日) 14:00~15:00	1時間	日本語教室いまり (伊万里市生涯学習センター)	有瀬尚子
3	平成26年11月25日(火) 19:00~20:00	1時間	小城日本語教室 (小城公民館 桜岡支館)	貞松明子
4	平成27年2月28日(土) 14:00~15:00	1時間	日本語教室かんざき (神幸館)	有瀬尚子
5	平成27年3月4日(水) 11:00~12:00	1時間	にほんごすいもく (佐賀県国際交流プラザ研修室)	貞松明子
6	平成27年3月10日(火) 10:00~11:00	1時間	モナミクラブ (鳥栖市土井町)	早瀬郁子
7	平成27年3月10日(火) 18:00~19:00	1時間	鹿島日本語教室 (鹿島市生涯学習センター・エイブル)	有瀬尚子
8	平成27年3月11日(水) 18:30~19:30	1時間	武雄日本語教室 (武雄市文化会館)	貞松明子

(6) 使い方

・日本語ボランティア教室で、活動をする際に使用する。使い方の詳細は本書の「使い方」の項参照。

(7) 具体的な活用例

・ボランティア日本語教室で使用する。「初級日本語集中講座」の修了生のみならず、日本語を母語としな  
い方とボランティアとが教材を使って活動する。

(8) 成果物の添付

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

佐賀県は外国籍住民の散在地域で、これまで地域日本語教室が非常に少なかった。当団体が文化庁委  
託事業で一昨年度から始めた事業により、平成25年末現在8市に12の教室が活動を始めている。今年度  
はボランティア教室がある地域で「初級日本語集中講座」を開講し、受講者を地域在住日本語支援ボラン  
ティアに託す構図をしっかりとものにしたい。各地域に立ち上げた日本語教室の活動の充実を図るため  
に、ボランティア養成講座を開講する。また、日本語教室で使える教材の開発を行なうことで、外国籍住民  
が自立した生活ができるように支援する。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

・「初級日本語集中講座」を修了した外国籍住民はその後、地域の日本語教室に参加し、日本語支援を受け、日本語能力が非常に伸びた。また、日本語能力だけでなく、ボランティアの方々や近隣の住民との関係も良好である。

・「初級日本語集中講座」を毎年開催してきたことで、多くの修了生からより上の文法項目を学びたいという意見を聞いていた。今回、神埼と鹿島市の受講者は、日本語ボランティア教室では扱うのが難しい日本語の概念なども含んだ初級後半の文法項目を学習することができた。受講者には非常に満足できる内容だった。

・外国籍住民に日本語を使って支援するボランティアの養成は、今年度は広い範囲で人材を募集し、基本的な知識とスキルを身に付ける「即戦力養成」と言えるものを行った。結果として、既に活動中のボランティアにとっては、幅広い知識を学び、今日にでも応用できる外国籍住民への対応の仕方が身に付いた。(アンケートより) また、ボランティア初心者にとっては、これから日本語ボランティア活動を踏み出す勇気を得られた。実際、この養成講座受講者が中心になって、新しい日本語教室が立ち上がることになりそうである。

・“カスタネット”はこれまで日本語教室の立ち上げを担ったり、「初級日本語集中講座」修了生をボランティア教室に送り込んだりしていたが、その先のフォローが十分でないと考えていた。そこで、教室活動の活性化を図るための教材「日本語ボランティア教室活動ブック」を作成した。各教室に「活動ブック」の使い方説(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

・「日本語支援ボランティア養成講座」で、カリキュラム案と教材例集を使用した。できるだけ多くの題材を紹介して、受講者が今後の日本語ボランティア活動で使えるように詳細に伝えた。

・「実習①」では、カリキュラム案を使用して活動の流れを考えた。受講者たちは佐賀県の実情に合った資料やレアリアを準備したことで、よりわかりやすく活発な「実習」ができた。

・「教材作成」の際は、教材例集の中から、教材のためのいくつかのトピックを選んだ。多くの用例があるので、興味関心が持ちやすいもの、地域の日本語教室で扱いやすく楽しいものを厳選することができた。

・「災害」の項目でページの多くを割いている「地震」は重要なものだが、当団体が活動する地域では、「台風」への備えも大切なものの一つである。地震対策より重要かもしれないと思っている。そのような意味「オプション」のようなものも、今後加えていただけるとありがたい。

#### (4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

・「初級日本語集中講座」事業は、地域の日本語教室との連携なしでは講座が成立しないので、講座が始まる前には日本語教室に来ている外国人参加者への講座の紹介、呼びかけをした。講座を受講したい外国籍住民に交通手段がない場合は送迎をした日本語教室もあった。

・「初級日本語集中講座」の最終日には発表会を設け、日本語教室のボランティアを招いて交流ができた。橋渡しを行ったことで、集中講座の受講者は継続して日本語教室へ参加するようになった。

・地域の行政担当者は、日本語教室の存在、活動内容を理解し、会場や託児の手配等の配慮をしていた。また、「初級日本語集中講座」最終日の発表会に行政担当者も参加し、外国籍住民の日本語での発表を聞き、地域住民としての彼らの意見、要望等を聞くことができた。

・「養成講座」事業では、佐賀県・佐賀市の後援をいただいた。佐賀県国際交流協会・佐賀市国際交流協会とは、これまでも共同で事業を行ってきたが、県と市の後援をいただくことで、広くチラシ配布ができ周知に繋がった。

・「教材作成」事業では、日本語教室で使い方の説明会を行い、実際に来ている外国籍住民に試作品を

#### (5) 改善点、今後の課題について

・「初級日本語集中講座」を行う際、これまでは開催市にのみ後援依頼をして講座を行っていたが、今回神埼市の場合は隣町の吉野ヶ里町にも後援をしていただいたことで、希望する会場と日程がすぐに手配できた。このことから、周知・広報の面や会場手配の面から、他地域でも近隣の市町村と連携を取るべきであった。今後は、近隣市町村にまで広げて後援依頼をしていくつもりである。

・地域の日本語教室へ行くことになった「初級日本語集中講座」修了生の日本語支援、及び日本語教室のボランティアの方への活動支援を充実させる必要がある。

・「教材作成」では、具体的な使い方の説明を書いたほうがよかった。項目を増やすこととマニュアルの作成が今後の課題である。

#### (6) その他参考資料